

平成25年度 第1回倉吉未来中心利用者懇談会 概要

開催日時：平成25年8月28日（水）

【現委員】 13名

今回出席委員：11名

※オブザーバー他関係者：2名

【意見交換の内容】（→は未来中心からの回答）

（鳥取県）大ホール割引プランについて、とりぎん文化会館と協議を行っているということだが、倉吉未来中心ととりぎん文化会館で横並びの制度を導入する予定か。または、協議は行っているが、施設ごとの事情を踏まえてそれぞれのプランを考えているということか。
→倉吉未来中心でプランを作成中である。そのプランを踏まえて、とりぎん文化会館でも導入するかどうかを今後協議していく予定。減免は利用料金に直結することであるし、利用者に公平に利用して頂くために、総合的に検証しながらプランを作成していく。

（委員）小ホールに看板等の設置用にバトンの設備はあるか。

→バトンの設備はある。反響板を使わなければ、バトンの利用が可能である。

設置できる看板等のサイズについては、打ち合わせの際に確認・相談いただければと思う。

（委員）「小曾根真&ゲイリー・バートン」の公演は本当に素晴らしく、久しぶりに倉吉で良質な音楽を提供して頂けて感動した。ただ、知人にコンサートのことを話すと、「知らなかった」という方も多かった。楽器店などにはポスターが掲示してあったが、市内のスーパー、銀行など不特定多数の方の目につく場所にほとんどポスターが見られなかった。ポスターの掲示には難しい面もあるかと思うが、もっと多くの方に知って頂く工夫ができなかったか。

→本公演の広報・販売促進については、ポスターを200部作成し、県内公立文化施設、公民館、ローソンなどに掲示した。銀行にも協力をお願いしたが、スペースの関係などで難しい面もある。市内のスーパーについては今後検討していく。

また、今後は若い方向けに SNS を活用するなどの工夫が必要であると考えている。

（委員）「セミナールームの場所が分かりにくい」という意見については、案内板の設置だけではなく、床にテープ等で矢印や案内を貼るのはどうか。病院や駅でこのような案内のスタイルをとっているところもある。

→施設の景観との兼ね合いもあるため、難しい面もあるが、セミナールームの場所が分かりにくいという意見は以前より多数寄せられているので、分かりやすい案内表示等を検討していく。

（委員）大ホール割引プランについて、大ホールの利用は文化団体関係が主になると思うので、その方たちが利用しやすいよう、引き続き検討していただきたい。

→現行の大ホール割引プランでは、反射板を設置すると割引プラン対象外となるなど利用しにくかった。備品は有料だが制限をなくすなど、その他の割引との兼ね合いも含め、引き続き検討していく。

(委員) 利用完了報告書アンケート集計について、不満などの悪い意見の内容を確認しているか。悪い点は何かを掘り下げ、改善していくことに力を入れていくと良いのではないか。

→報告書を提出していただく際に目を通し、意見を書かれていた場合はお客様にお話を伺うこともある。また、アンケート集計結果の「申込み手続きについて」、平成24年度は「複雑」が全体の0.7%であったが、平成25年度は2.7%に増加している。これは、改修中の倉吉市勤労青少年ホームから未来中心を利用される方にとって、予約の流れが違うことも要因であると考えている。今後もアンケートの結果を参考に対応していく。

(委員) 以前、小ホールを利用した際、楽屋のエアコン操作盤のようなものが2つあり、よく分からなかった。

→小ホール楽屋にはエアコン操作盤と換気扇操作盤の2つが並んでいる。どの操作盤か分かるよう表示を付ける。

(委員) 駐車場が満車になった場合、以前は大御堂廃寺跡を臨時に開放していたようだが、今でもそのような利用ができるのか。

→大御堂廃寺跡については、市の管理であるため、未来中心からは利用許可が出せなくなっている。利用されたい場合は、市へ直接依頼していただくことになる。

(委員) 練習室2を利用して高校生のバンド発表会を行うことがあるが、電気回路が1回路しかない。電気事情が良くなれば、催事でできることも増えると思うので、電気回路を増やしてほしい。

→練習室は練習を目的として作られているため、電気回路が少なくなっている。電気工事となると、施設の改修ということで県との協議になる。施設管理担当と対応について検討する。

(委員) セミナールーム1は声の通りが良くマイクを利用しなくて良いので、講師の方にも大変好評である。セミナールーム1・2の案内表示がより分かりやすくなれば良いのではないか。

→案内板は、常設のもの以外にも無料で貸出しているので活用していただきたい。

(委員) 「駐車場がなくて、車が停められなかった」という意見があるが、対応策を考えていく必要があるのではないか。

→駐車場は、大きな催しが重なると満車になることがある。職員が見回って、利用者以外の駐車への声掛け、警備員の定期的な見回りやアイドリングストップの看板設置などの対応を行っている。また、大きな催しが重なることが分かっている場合は、主催者の方にお集まりいただき、駐車場の警備・誘導について協議を行っている。

(委員) 「大ホールの扉を開閉するのが面倒でした」という意見があるが、何か良い対策はないか。

→ホールは防音のため厚く、重い扉になっており、軽い扉へ変更するのは難しい。主催側で、腕力の弱い方の入口を特定し、ドアの開閉をしていただくようお願いする。

(委員) 利用完了報告書アンケートについて、多くの方が「満足」や「良い」という評価をされている。
職員の努力と、利用者もモラルを持って利用されているということではないだろうか。
→引き続き満足いただける館運営を行っていく。

(委員) 前回の懇談会でお願いしたリハーサル室の更衣室の件について、早急に対応していただき、
ありがたく思っている。

公共の事業でのホールの仮予約が多く、個人や文化団体の予約が取りにくい状況があった。
候補日を何日も押さえている場合などは、第1希望、第2希望の兼ね合いが上手くできれば
より良くなるのではないか。

→候補日を何日も取られていて、仮予約の期間が長くなっている場合は、こちらから連絡をして
いる。現在キャンセル待ちの予約は受けていないが、仮予約の期間が長くなっている方へ
連絡を取るので、相談いただきたい。

当日の様子 (写真)

